

## 安全データシート

## 1. 製品名及び会社情報

製品名 サルボコール 50  
 会社名 西日本薬業株式会社  
 住所 愛媛県松山市南吉田町 2 1 8 6 番地 1  
 電話番号 089-965-3600  
 FAX 番号 089-965-3601  
 メールアドレス [info-labo@nisiyaku.co.jp](mailto:info-labo@nisiyaku.co.jp)  
 推奨用途及び  
 使用上の制限 食品、製造器具等の除菌洗浄及び食品の鮮度保持  
 作成年月日 2010年12月16日  
 改定日 2016年6月1日

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 2A-2B  
 生殖細胞変異原性 区分 1B  
 生殖毒性 区分 1A  
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分 3(気道性刺激、麻醉性)  
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分 1(肝臓)、区分 2(神経)  
 環境に対する有害性 該当せず  
 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

全体的な危急性：無色透明な液体。蒸発するとき可燃性の刺激性ガス、毒ガスが発生する。  
 有害性：蒸気を吸入すると眼、気道の刺激を引き起こすことがあり、繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛、疲労感などを起こすことがある。  
 妊娠中に継続して摂取すると、胎児に有害影響が及ぶことがある。長期にわたる摂取は肝硬変を引き起こすことがある。

特定の危険有害性  
注意書き

該当せず  
 使用前に以下の全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。  
 この製品を使用するとき飲食又は喫煙しないこと。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 蒸気/ミスト/スプレーを吸入しないこと。  
 容器を密栓して換気の良いところに保管すること。  
 子供の手の届かないように保管すること。

## 3. 組成・成分情報

物質の特定 : 混合物

組成

含有成分	化学式	化審法番号	安衛法番号	CASNo.	重量比
エチルアルコール	CH <sub>3</sub> CH <sub>2</sub> OH	2-202	既存	64-17-5	51.5%
グリセリン	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub>	2-242	既存	56-81-5	0.2%
乳酸	C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> O <sub>3</sub>	2-1369	既存	50-21-5	0.2%

上記組成に精製水を含有

国連分類 : 3-2 (引火性液体) 国連番号 : 1170

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。ひどい場合は直ちに医師の手当を受ける。

眼に入った場合 : 豊富な清浄水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けること。

皮膚に付着した場合 : アルコールの浸潤した衣服を直ちに脱がせ、アルコールにふれた部分を水で流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく落とす。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませ希釈し、可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、耐アルコール泡が有効

消火方法 : 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。大規模の火災には耐アルコール泡、水を噴霧する。容器を冷却する。又延焼を防止するため、周辺にも水を噴霧する。

## 6. 漏出時の措置

注意事項 : 高濃度の蒸気にさらされないように保護眼鏡、保護マスク等適当な保護具を着用する。

浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

除去方法 : 少量の場合は砂又は他の不燃性吸着剤で取り除きこぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。

大量の場合は漏出液を密閉式の空容器にできるだけ回収し、回収できなかった場所は、大量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させ若しくは注ぎ、蒸発させ、又は加熱しないこと。

目・皮膚・衣服に漏らさないこと。取扱終了後は(手等は)よく洗うこと。空の容器は潰したり、切ったり、加熱したり又は溶接したりしない。

作業中に温度が上がってきたら、蒸発する蒸気や匂いを避けるために適切な換気の準備をする。

取り扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの又は酸化性のものを置かない。

- 保 管：火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし温度、湿度、遮光に注意し、冷暗所に保管する。  
 容器の蓋は閉めておく。  
 直射日光の当たる場所には保存しないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：換気が必要である。

取扱いについては、火気のない換気のよいところで行う。

管理温度：規定なし

許容濃度：エタノールにおいて

ACGIH-TLV TWA1000mg/m<sup>3</sup>

OSHA-PEL TWA1,000ppm(1,880mg/m<sup>3</sup>)

保 護 具：通常はゴム手袋、ゴム前掛、安全靴を着用する。高濃度の場所ではゴム手袋、ゴム前掛、安全靴、保護眼鏡、防毒マスクを着用する。

作 業 衣：帯電防止衣服を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外 観 等：無色透明な液体で特有の芳香とやけるような味を持つ。

pH：該当せず

溶媒に対する溶解性：水、エーテルによく溶ける

## 10. 安定性及び反応性

安 定 性：通常の手扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。

## 11. 有害性情報 急性毒性

・服用 ヒト：LDL<sub>0</sub> 2.340mg/kg 行動、胃腸（吐気）

・服用 ラット：LD<sub>50</sub> 11.790mg/kg 呼吸器系

### 一般毒性

・吸入 ラット：LC<sub>50</sub> 33,400ppm/10h 毒性未評価

・服用 ヒト(男)：TDL<sub>0</sub> 1170mg/kg 行動(精神生理学上)

### 皮膚刺激性

・皮膚 ラット：668mg 開放 症状(軽度)

・皮膚 ラット：814mg/24h 症状(重度)

・目 ラット：167mg/24h 症状(中度)

注) 上記のデータはアルコール 100%の場合の情報から計算上求められたものです。

---

## 12. 環境影響情報

残留性／分解性	データなし
生体毒性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動度	データなし
他の有害影響	データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

- ・ 残余廃棄物については燃焼炉の火室へ噴霧し、焼却する。
  - ・ 使用後の容器又は配管等を廃棄処分する時は、内容物を水洗してから処理する
  - ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。
- 

## 14. 輸送上の注意

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法により第1類及び第6類との混載を禁止。
  - ・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめて、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
  - ・ その他、適用法令の定めるところに従う。
- 

## 15. 適用法令

- ・ 食品衛生法 : 食品添加物
  - ・ 労働安全衛生法 : 危険物 該当せず  
: 通知対象物質 政令番号第 61 号 エタノール
  - ・ 消防法 : 危険物 該当せず
  - ・ 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 該当せず
- 

## 16. その他の情報

### 【参考文献】

財団法人バインダストリー協会：アルコールハンドブック第9版(1997)  
社団法人日本化学会編：化学便覧(改訂4版)、丸善(1993)  
化学工業日報社：13700の化学商品  
化学工業日報社：国際化学物質安全カード(ICSC)日本語版第3集(1997)  
通産省公報（平成5年12月28日）  
(社)日本化学工業協会：製品安全データシートの作成指針

### 【注意】

- ・ この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
  - ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
  - ・ 注意事項は通常の実施を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
  - ・ すべての化学品には未知の有害性がある得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して頂きますようお願い申し上げます。